

資料番号	5
------	---

令和5年10月19日	課名	土木建築局都市計画課	課名	土木建築局住宅課
	担当者	課長 廣中	担当者	課長 奥野
	内線	4110	内線	4163

ディグアール
DIG:R HIROSHIMAの推進について

1 要旨・目的

持続可能なまちづくりの実現に向けて「集約型都市構造」の形成を推進するため、県内の各都市において、地域の方々と共にまちの魅力を発信して求心力を高めながら、まちとその周辺エリアに暮らす選択肢を提案するプロジェクトを進める。

プロジェクトは、広島県と多様な民間団体がプロジェクトメンバーとなり、地域のまちづくり組織やエリアマネジメント団体（以下「まちづくり組織等」という）が掲げるビジョンの実現に向けて、まちづくり組織等と一体となって各種取組を推進する。

2 現状・背景

- 人口減少と少子高齢化の進行が予測される中、広島県では、地域特性に応じて都市機能や居住人口が集約された「集約型都市構造」の形成を進めるため、市町の立地適正化計画の策定やまちづくりの支援などに取り組んでいる。
- 他方で、住宅市場においては、消費者の新築志向が高く、既成市街地の住宅ストックの活用が十分にできておらず、都市部で空き地や空き家がランダムに発生する「都市のスポンジ化」や、郊外での低密度な市街地の形成の進行が懸念される。そのため、消費者の居住地や住まいの選択における意識変容を促しながら、居住誘導を進めていく必要がある。

3 DIG:R HIROSHIMA の概要

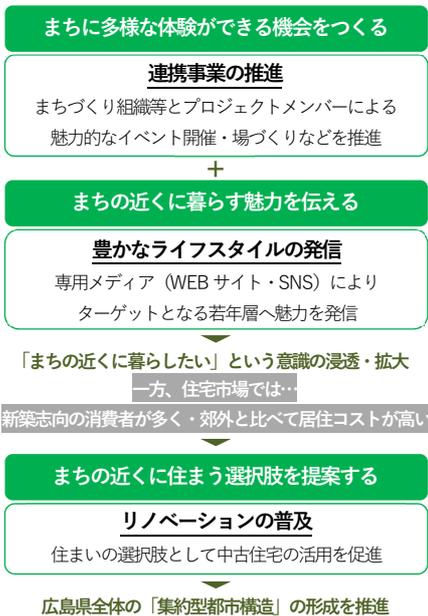
(1) 対象者

県民（今後、住み替える機会が想定される20代～30代を主なターゲット層とする。）

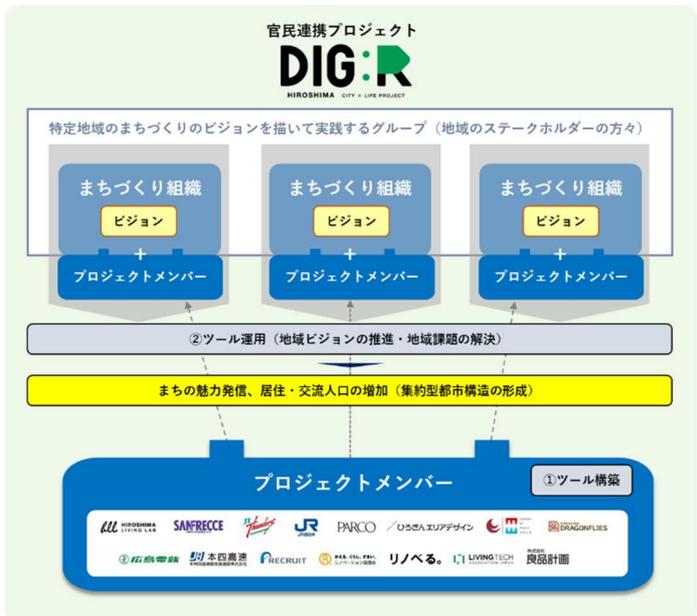
(2) 事業内容

立地適正化計画を策定する市町における中心市街地や駅周辺などを対象として、まちづくり組織等とプロジェクトメンバーが一体となって、地域のビジョンを踏まえた「魅力の発信」や「住宅ストックの活用促進」により、集約型都市構造の形成を推進する。

<プロジェクトの取組方針>



<プロジェクトの進め方>



(3) スケジュール

県内の各都市の中心市街地や駅周辺などのうち、地域の活性化方針やビジョンを策定するエリアにおいて、市町及びまちづくり組織等との連携体制を構築した上でプロジェクトを推進していく。

(4) 予算（単県）

10,000 千円

<プロジェクトのコンセプトなど>

名称の意味	広島県の街と暮らしを【DIGる】※ことでの新たな発見を得る ※現代用語で「深掘りする」という意味
活動期間	令和5年度～令和7年度（予定）
活動資金	広島県の負担金及び民間企業の協賛金等
プロジェクトメンバー	一般社団法人HLL、株式会社サンフレッチェ広島、JT サンダーズ広島、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社パルコ、ひろぎんエリアデザイン、広島電鉄株式会社、株式会社広島ドラゴンフライズ、本四高速株式会社、リクルート株式会社、一般社団法人リノベーション協議会、リノベる株式会社、一般社団法人LIVINGTECH 協会、株式会社良品計画、広島県（五十音順）
主な事業指標（KPI）	居住誘導区域内の人口密度（「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」に掲げる指標）、県民のリノベーションに対する関心度、中古住宅の比較検討割合、居住誘導区域内の中古住宅の取引件数

<プロジェクトの対象地域>

立地適正化計画を策定している市町における、拠点エリア（中心市街地や主要な駅周辺など）及び拠点間を結ぶ交通ネットワーク沿線エリア [計画策定状況 (R5.10時点)] 策定済：12市町（実線囲み）、策定中：5市町（破線囲み）

